

国立成育医療研究センターでは下記の研究を実施しております

研究名：

肝臓移植における免疫寛容誘導予測システムの確立に関する研究

1．研究の目的

本研究は、臨床における肝移植における免疫寛容誘導予測システムの確立を目的としています。肝移植後の症例において、ドナーおよびレシピエントの血液を用いた遺伝子解析を行い、術後拒絶反応発症の有無でグループ化し、多様な遺伝子型の差異から肝移植免疫応答を予測するシステム構築をおこないます。

2．研究の方法

研究対象：2005年11月～2023年10月までに当センターにて肝移植を受けられたドナー及びレシピエントの方

研究期間：倫理審査委員会承認後～2028年12月

研究方法：これまで当センターで肝移植を実施した患者様において、拒絶の有無と遺伝子のヴァリアントの相関を検討して、肝移植免疫応答を予測するシステム構築をAIシステムを用いて行います。

オプトアウトの対象となる方：遠方などの理由で成育受診の機会がなく、直接同意をいただくことができない方、かつ以前の遺伝子に関する研究(研究課題名「ウイルス診断と免疫応答の評価による、免疫不全症にの感染制御に関する研究」、「肝移植手術時に生じる手術摘出肝組織の利用」、「小児肝疾患における遺伝的要因の検索」、「小児急性肝不全患者における肝移植時摘出肝および肝臓内リンパ球を用いた原因検索」)で同意書をいただいている方。

3．研究に用いる情報・検体の種類

肝組織や血液から採取して保存されているDNA、病歴、検査データ、肝移植後の経過、拒絶反応の有無、免疫抑制剤の使用、合併症など

患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

提供いただいた DNA は、本研究終了後も大切に保管し、本研究以外の研究にも利用する可能性があります。その際は、院内掲示または、ホームページなどでお知らせいたします。

4 . 情報の公表

研究内容は学会発表や学术论文の形で公表する予定ですが個人が特定できる情報は一切含みません。

5 . 研究実施機関

国立成育医療研究センター

6 . お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、**2024年3月31日までに**下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 臓器移植センター 福田晃也
住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1
電話：03-3416-0181（代表）

研究責任者：

国立成育医療研究センター 臓器移植センター 阪本靖介